

# 逆風に立ち向かい、大型事業を推進

令和元年度

# 決算

令和元年度の一般会計と6つの特別会計、2つの公営企業会計の決算がまとまりました。

福祉や教育、土木、消防など、行政運営の基本的な経費を計上している一般会計は、歳入が2億9809万円不足し赤字決算の見込みとなったため、貯金の一つである財政調整基金から5億円を取り崩して歳入に繰り入れ、2億191万円の黒字決算としました。特別会計と公営企業会計も黒字決算でした。

令和元年度は、西日本豪雨災害からの復旧・復興事業のほか、総社小学校の改築や給食調理場の新設なども進めました。

今後は、新型コロナウイルス感染症の影響による税収減や社会保障関連経費などの増加が想定されます。引き続き復旧・復興事業に取り組むとともに、予定されている庁舎建て替えなどの大型事業を推進していけるよう、健全な財政の維持に努めます。

問い合わせ 財政課 (☎ 8228)

財政調整基金からの取り崩し5億円含む

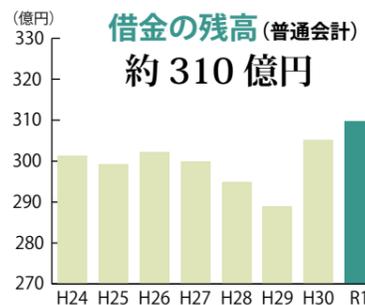


翌年度へ繰り越すべき財源 2億9263万円 = **〈黒字決算〉 2億191万円**

※1万円未満の額がある場合、切り捨てています

## 財政状況

西日本豪雨災害からの復旧・復興事業や給食調理場新設などの大型事業に対応したことで、借金の残高は増加傾向にあります。一方で、貯金は大幅に減少することなく、適正な残高を維持しています。



主な事業	
雪舟生誕地公園整備事業	2008万円
認定こども園施設整備事業	1億936万円
総社小学校改築事業	2億2593万円
給食調理場新設事業	16億3793万円
総社市新生活交通事業	6813万円
障がい者千五百人雇用事業	2093万円
健康インセンティブ事業	3009万円

## 西日本豪雨災害復旧・復興事業

復旧・復興経費 約17.9億円

(主な事業)	
災害廃棄物処理・家屋解体事業	6億9083万円
公共施設等災害復旧事業	5億306万円
被災農業機械支援事業	3億799万円
被災者見守り・相談支援事業	2453万円
救命資機材等整備	1893万円



# 新型コロナウイルス感染症対策

問い合わせ 新型コロナウイルス感染症対策室 (☎ 8259)

## 市内の学校で感染者が発生した場合の対応などを協議 第3回感染症専門家会議を開催

市役所で9月29日、3回目の総社市感染症専門家会議を開催。市内の学校で新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対応方針などを話し合いました。

会議では、8月に市内学校教職員の感染が判明した際、休校措置を取った経緯を説明。今後の感染者発生に伴う対応について、出席した医療関係者からは臨時休校に賛成の意見が多くあったほか、「休校ではなく学級閉鎖という選択肢もある」、「休校日数は、地域の感染者の増加状況を考慮して決定してはどうか」、「子どもには比較的风险の低い感染症であることを広く周知する必要がある」などの声も上がりました。



市長は、「会議での意見を踏まえ、対応を決めていく。総社市全体で感染症を予防していきたい」と述べた

## 正しい知識をもって人権侵害を防ごう 新型コロナウイルス解説動画を制作

### 動画「新型コロナウイルスについていっしょに考えよう！」



市ホームページからご覧ください ([https://www.city.soja.okayama.jp/kenkouiryu/iryuu\\_fukushi/kenkoutukuri/korona\\_2\\_3\\_2.html](https://www.city.soja.okayama.jp/kenkouiryu/iryuu_fukushi/kenkoutukuri/korona_2_3_2.html))



新型コロナウイルス感染者などへの誹謗中傷や人権侵害を防ぐため、基礎知識や対策に関する動画を制作しました。

動画には市長をはじめ、総社市感染症専門家会議のメンバーである長崎大学の山本太郎教授、岡山大学大学院の頼藤貴志教授、吉備医師会感染症対策委員長の高杉尚志医師が参加。コロナとは何か、どうやって感染するか、感染が疑われる場合はどうしたらよいかなどを説明し、「正しい知識をもって、正しく恐れましょう」、「インフルエンザの予防接種も受けましょう」などと呼び掛けました。

### 動画のポイント

- ① 誰でも感染する可能性があり、感染者や濃厚接触者が悪いわけではない
- ② 感染者や周囲の人を絶対に誹謗中傷してはいけない
- ③ 手洗い・うがいをする、マスクを着ける、免疫力を高める、3密を避ける、などの対策を一人ひとりがしっかりと行うことが大切